

薬草園かわらばん

皆さ〜んチョット覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2017年
8月23日
第21号



ムクゲ (アオイ科)

韓国の国花としても知られている中国原産の落葉樹。日本には奈良時代に渡来したといわれています。現在は主に鑑賞用として栽培されています。花は白から淡紅色、淡紫色など変化に富んでいます。和名「ムクゲ」は漢名のモクキン「木槿」から転訛されたものといわれていますが、最近では韓国語の別の説が有力視されているようです。日本の漢方医学では使いませんが、中国では花蕾を「木槿花」、樹皮または根皮を「木槿皮」という生薬として、咳止めや各種出血、外用で痒み止めとして使います。

アキカラマツ (キンポウゲ科)

園内の水性植物区の前で静かに咲いています。長野県伊那地方に古くから伝わる薬草で、第二次大戦中に全国薬草調査で見出されたそうです。高遠町の地名から、全草を乾燥したものを、タカトウグサ（高遠草）という名の民間薬として、健胃、整腸を目的にに用います。名前の由来は花の姿がマツ科カラマツを思わせることからのもので、薄い黄色の花は花弁が無くオシベの葯が大きく沢山ついているのでこの色に見えます。



今、こんな草木が楽しめます
待ってまーす！！

薬草園ボランティアグループ